

# 平成27年度の新潟市認知症対策について

平成27年11月2日（月）新潟市地域包括ケア推進課

# 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)

## ～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～の概要

- ・ 高齢者の約4人に1人が認知症の人又はその予備群。高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加 2012(平成24)年 462万人(約7人に1人) ⇒ **新** 2025(平成37)年 約700万人(約5人に1人)
- ・ 認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人が認知症とともによりよく生きていくことができるような環境整備が必要。

### 新オレンジプランの基本的考え方

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す。

- ・ 厚生労働省が関係府省庁(内閣官房、内閣府、警察庁、金融庁、消費者庁、総務省、法務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省)と共同して策定
- ・ 新プランの対象期間は団塊の世代が75歳以上となる2025(平成37)年だが、数値目標は介護保険に合わせて2017(平成29)年度末等
- ・ 策定に当たり認知症の人やその家族など様々な関係者から幅広く意見を聴取

### 七つの柱

- ①認知症への理解を深めるための**普及・啓発**の推進
- ②認知症の容態に応じた適時・適切な**医療・介護等**の提供
- ③**若年性認知症**施策の強化
- ④認知症の人の**介護者への支援**
- ⑤認知症の人を含む高齢者に**やさしい地域づくり**の推進
- ⑥認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の**研究開発**及びその成果の普及の推進
- ⑦認知症の人やその家族の**視点**の重視

# 認知症高齢者の現状(平成22年)

●全国の65歳以上の高齢者について、認知症有病率推定値15%、認知症有病者数約439万人と推計(平成22年)。また、全国のMCI(正常でも認知症でもない状態)の有病率推定値13%、MCI有病者数約380万人と推計(平成22年)。

●介護保険制度を利用している認知症高齢者は約280万人(平成22年)。

介護保険制度を利用している認知症高齢者(日常生活自立度Ⅱ以上)

約280万人

認知症施策推進5カ年計画(オレンジプラン)で対応

- 早期発見・早期対応
  - 認知症の普及・啓発
  - 見守りなどの生活支援の充実など
- 地域での生活継続を可能にする。

日常生活自立度Ⅰ又は、要介護認定を受けていない人

約160万人

軽度認知障害

約380万人

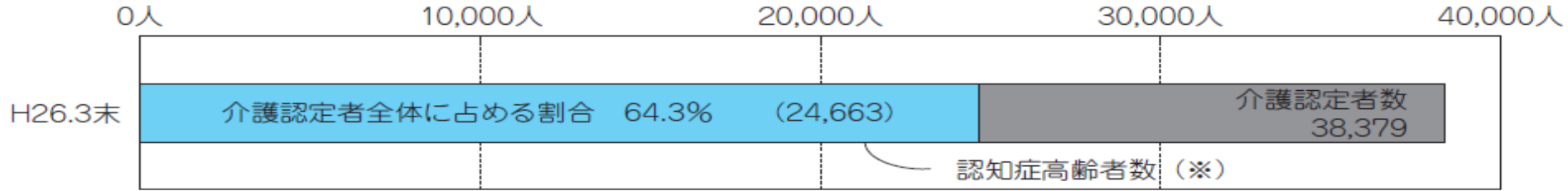
※MCI全ての方が認知症になるわけではない

健常者

65歳以上高齢者人口2,874万人

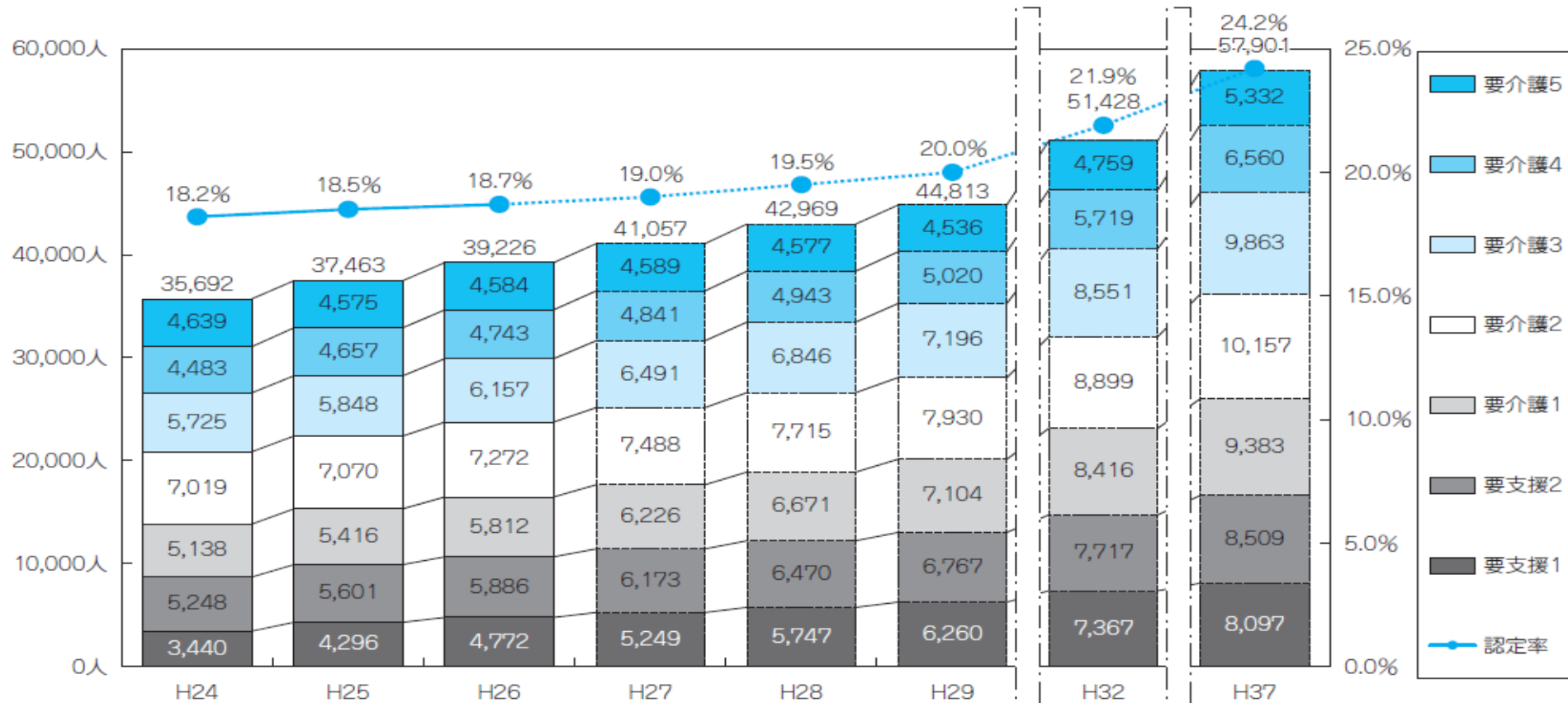
持続可能な介護保険制度を確立し、安心して生活できる地域づくり。

# 新潟市の認知症高齢者の状況



※日常生活に支障をきたすような行動が見られ始める認知症高齢者の日常生活自立度の判定基準Ⅱa以上に該当する者。

## 新潟市の要介護認定者と認定率の推移（各年10月1日現在の実績値）



※新潟市高齢者保健福祉計画介護保健事業計画（H27～H29）より